

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 介護予防サービスの充実	② 施策番号	4506
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	3 みんなで支えあう福祉のまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 高齢福祉の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
健康福祉部	長寿社会推進課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	65歳以上の高齢者
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	高齢者が要介護状態に陥らないよう、介護予防を図る。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	地域包括ケアシステムの構築は、介護予防としての自助の取組みが第一義とされており、全国各地「ご当地体操」等が普及され、地域全体で介護予防に取り組む施策が講じられている。本市においても、介護予防に特化した“WAO体操2”“MCI予防体操”の普及啓発を行っている。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 介護予防普及啓発事業延参加人数 計算式:	人	介護予防の普及に資する運動、栄養、口腔に係る介護予防教室を開催し、専門的知見を有する者を生かした自立支援に資する取組を推進し、介護予防の推進を図るために、参加者数を指標としている。
② 地域介護予防活動支援事業延参加者数 計算式:	人	地域住民主体の多様な地域活動組織の育成及び支援を目的により、地域コミュニティーの構築を目指しており、参加者数を指標としている。
③ 短期集中型予防教室参加延参加者数 計算式:	人	リハビリテーションに関する専門的知見を有する者が、住民への介護予防に関する技術的助言や地域ケア会議等におけるケアマネジメントの支援を目的としているため、短期集中型の予防教室への参加者を指標としている。

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
① 介護予防普及啓発事業延参加人数	人	目標値	7,000	7,000	8,000	7,000	8,000	
		実績値	6,683	6,861	8,150	—	—	
		達成率	95.5%	98.0%	101.9%			
② 地域介護予防活動支援事業延参加者数	人	目標値	—	800	800	800	800	
		実績値	—	772	428	—	—	
		達成率		96.5%	53.5%			
③ 短期集中型予防教室参加延参加者数	人	目標値	—	200	200	200	200	
		実績値	—	198	190	—	—	
		達成率		99.0%	95.0%			

[3] 施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方針		
1 街かどデイサービス事業	延べ利用者数	人	3,141	2,828	3,300	6,803	6,811	6,811	B	イ	b	▲
2 一般介護予防事業	介護予防教室参加延人数	人	7,831	8,768	9,000	52,904	45,274	53,992	B	ア		◎
3 介護保険要介護認定調査事務事業	要支援・要介護認定者数	人	3,365	3,464	3,464	83,941	92,240	79,071	A	ア		
4 地域ケア会議推進事業	事例数	件	42	54	54	6,497	6,669	6,738	A	ア		
5												
6												
7												
8												
計	4					150,145	150,994	146,612				

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	地域包括ケアシステムの構築は、要介護状態にならないように、また要介護状態になったとしても悪化しないように、自助の取組みが第一義とされており、その施策の普及が必要である。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2〔2〕の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	地域住民の自助の取組み(普及啓発等)。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	介護予防は、本来自助の取組みであるものの、その必要性が浸透されていない状態にあるため、現在は、行政の介入が必要であるが、今後は、地域住民独自の活動として定着できるようにする必要があると考えている。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2〔3〕を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	適正と考えている。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2〔3〕において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	◎の介護予防事業は、地域包括ケアシステム構築の根幹と考えている。 ▲の街かどデイサービス事業は、事業の見直し、再構築が必要と考えている。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	
一次評価	A	施策達成に向けた取組みや展開等は、大変評価できるものであるが、地域への浸透については、更なる対策が必要である。	<p>A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる</p> <p>B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている</p> <p>C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある</p> <p>D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある</p>

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	地域へ浸透していくような取り組みの検討。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	地域へ浸透していくような取り組みの検討。 街かどデイハウス事業の見直し、再構築。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	地域へ浸透していくような取り組みの検討。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	
二次評価	B	事業実施を通じた施策達成に向けた取組が適切に実施されている。 今後も介護予防が地域に浸透していくよう取組や展開を引き続き進められたい。	<p>A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる</p> <p>B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている</p> <p>C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある</p> <p>D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある</p>